

地域の底力を信じ、市民一人一人をローカルヒーローに!

ながののNPOと市民をつなぐ機関誌

特集 「NPO × 広報
～情報発信虎の巻～」

まんまる

- まんまるニュース
- My ストーリー 翠翔会 谷政実さん
- 旬 NPO 紹介 NPO 法人 えんまる
- お宝ざくざく地域を掘り起こせ! 大岡地区・学生団体 Gomitomo
- まんまるイベントスケジュール



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

まんまるはSDGsを推進しています。

2021
春号

No.28

特集

「NPO×広報」情報発信虎の巻

自団体を知ってほしい、イベントに集客したい、社会課題を伝えたい。市民活動団体にとってより多くの人への情報発信はとても重要です。しかし、どう広報したらいいかわからない、広報しても周知が進まないといった悩みがあります。多くの団体が広報活動に時間と人手、費用をかけられない現実もあります。新聞やテレビ、ラジオ、フリーペーパー、SNSなど広報媒体が多様化する中、これらをどう有効活用していくか。今回は、専門家やメディアへの取材から、広報する際に大切にしたい点を虎の巻にまとめました。

——広報に悩む団体はとて
もたくさんあります。まずは
広報をどう考えるところ
から始めたらいいですか？
まずは、自分が情報を届け
たい相手、つまりター
ゲットをきちんと定めるこ
とが重要です。やみくもに

数を打つのではなく、この誰が対象なのかをはっきりさせましょう。その次にどの広報媒体を使うかを見極めます。団体内でワークショップをするのもおもしろいですね。

——広報媒体はどややって
選べばいいですか？
それぞれの媒体の特性を
しっかりとつかんでおくこ
と。その媒体を支持してい
る年齢層・特に強いエリア
がどこなのかなどをリサー
チしましょう。

——どうしたら新聞社など
報道機関に取材に来ても
らったり、広報してもらえ
るのでしょうか？
まずプレスリリースとい
う方法があります。県庁内
に窓口があり、誰でも利用
が可能です。必要数30部の
資料を持ち込むと県内の報
道機関に一齐に情報を配布
してくれます。

どうしたら取材に来ても
らえるかという点も頭に入
れて工夫して作る必要があ
ります。世の中の流れやト
レンドは常に感知しておく
ことも大切です。

——イベントの告知など広
報を頑張ったのにうまくい
かないという声をよく聞き
ます。
無料媒体でもターゲット
を絞って使い分けること、
また、即効性のある有料の
広報媒体も組み合わせると
効果的な広報を狙うのも手
ですね。

——有料媒体を活用したい
ですが、広報にそんなにお
金をかけられません。
広告費はコストではなく
投資という意識をもってみ
よう。

てはいかがでしょうか。例
えば助成金を申請する際
には、予算の中に広告費をき
ちんと確保し、効率的に広
報活動を進めましょう。こ
れも大切なポイントです。

——最後にNPOのみなさ
んにひとこと！
マスメディアに頼るだけ
でなく、自分でコントロー
ルできるホームページやブ
ログ、SNSを有効に活用
して、常に正確でしっかり
した情報を発信しましょ
う。

広報の道は奥が深い！

まだまだ知りたい方へ

「広報講座」を開催します

6月26日(土) 10:30~12:30

詳しくはP8イベントページへ。

NPO
ステップ
アップ



どこの、誰に、 伝えたい？

岡田義彦さん

ソーシャルデザインセンター代表
クリエイティブ ラボ代表
SDGs アウトサイドイン公認ファシリテーター



インタビュー!! 専門家に 聞いてみよう!



新聞

新聞は、比較的年配の人や、活字に親しんでいる人に効果的な媒体です。信濃毎日新聞の北信版、タブロイドの長野市民新聞、週刊長野などは、地域限定の記事が掲載されており、目に留まりやすいです。届いた情報の精査、取材する記者の担当分けなどの過程があり、情報を受けてから掲載まで一定期間を必要とします。

【週刊長野新聞社に聞きました】

長野市、小川村、飯綱町、信濃町に11万部発行。発行日は毎週土曜日です。事前記事が主で紙面上には個別記事と「情報るーむ」があります。対象層が広く、市民生活に役立つ話題は注目度が高いです。内容のほかに趣旨、背景、意義などを添えていただけるとうれいします。くれぐれも情報は早めにお寄せください。

テレビ

テレビはほとんどの家庭で視聴されており広報効果は大きいです。ケーブルテレビを除き全県向けの放映になるのでニュースとしての先駆性や話題性が重視されます。また、時間帯や番組によって視聴者層は異なります。

【民放TV局報道デスクに聞きました】

県のプレスリリースには毎日20件ほど投げ込みがあります。必ずチェックして見ますが他局も見えていますからね。情報の持ち込みは大歓迎です。ニュース性、話題性が時勢にあつたものは取り上げやすいです。内容以外に思いや背景は必要です。記者によって情報源はさまざまですが、記者とのパイプがあると早いですね。

事件事故以外は事前にアポイントをとって取材。ニュースの内容は前日に決めていきます。

各機関に聞いてみました！

ラジオ

ラジオは運転や仕事、家事などの作業のかたわら聞くながら聴取が多く、暮らしの中に溶け込んだ気軽なメディアです。耳からの情報だけなので、わかりやすい言葉で必要事項を伝えられるよう、情報提供の際にも気を付けます。

「FM局「FMぜんこうじ」パーソナリティの宮島陽子さんから！

「FMぜんこうじ」は、

フリーペーパー

各社が出すフリーペーパーは、子育て・若者・シニアなどテーマをしばつたものが多く、それぞれの読者層を見極める必要があります。

「ながの情報NEXT」吉原健一さんと安西博志さんから！

「ながの情報NEXT」

地域に根差した市民のための放送を北信地域60万人に提供しています。営利目的でない内容の情報には積極的に広報します。また、イベントの開催まで日にちが少なくても対応ができることも利点です。

月曜から金曜の朝・昼・夕方番組内に「伝言なむごん765」という情報コーナーがあります。ここではFAXやメールで提供された情報をもとに、担当パーソナリティが気になったものも発信しています。

は来年創刊50周年で日本最古のフリーペーパーです。市民活動などのイベント情報を、世代を問わず提供しています。

ながの情報NEXTにはWEB版と冊子版があり、地域や世代のスタイルに合わせて情報支援ができます。両媒体が組み合わせること、長い告知と幅広いアプローチを可能にしています。みなさんからの情報をお待ちしています。



創刊日の11月29日は「タウン情報誌の日」と制定されています。



パーソナリティの宮島陽子さん



インターネット上の情報サイトは、場所を選ばず、世代問わず誰でもアクセスできることが特徴です。

「ナガクル」編集室から！

「ナガクル」は、地域の課題と長野県内NPOをつなぐウェブ 사이트です。NPOが取り組む地域課題をより多くの方に知ってもらいたい、素晴らしい活動をしているのに情報が埋もれてしまふ、他の団体が何をしているか知りたいといった声から誕生しました。登録すると、日々更新する団



▲ナガクル

体ブログがナガクル上でも掲載されるので、より多くの方に知ってもらえます！気軽に登録し、自分たちの活動を紹介したいサイトを盛り上げましょう。

「ソシャティ」運営会社
ウイライ代表
浅野崇裕さんから！

株式会社ウイライは、社会課題に取り組む団体や企業をウェブやデザインなどの面から支えることを目指しています。今年2月に全国の社会貢献活動の情報を集めた「ソシャティ」を開発しました。FacebookやInstagramと 同じ感覚で気軽に情報提供してください。



▲ソシャティ

特別ふろく



NPOが活用できる無料媒体を一覧にしました。
この紙面を読んでいただいた方限定で公開します。
URL:<https://tinyurl.com/ycu9j7ep>
印刷・閲覧が難しい方は、市民協働サポートセンターまでお気軽にお問い合わせ・ご来所ください。



Facebook、Instagram、LinkedInなどのSNS（ソーシャルネットワークサービス）は、それぞれ特色があり、中心となるターゲットがちがいます。また、「#（ハッシュタグ）」（例えば「#ボランティア募集」など）をつけることで発信された投稿へたどりつきやすくなります。

広報虎の巻 七か条!!

一つ、情報提供は隠すな。

各メディア、常に情報を必要としています。ためらわずに積極的に情報提供をしていきましょう。

一つ、プレスリリースから広報は始まる！

プレスリリースは多くのメディアに有効です。内容だけでなく、開催に至る背景や熱い想いを含め、アピールしていくことが大事です。

一つ、情報発信はできるだけ早くすべし！

告知か当日取材かで依頼の締切りは異なりますが、できるだけ早く情報を届けましょう。記事の取材掲載まで時間を要するといった理由の他、メディア各社、他社の動きをしっかりと見えています。

一つ、ターゲットをつかみ、媒体を選ぶべし！

各メディアの特性をふまえ、「どの誰に広報をするのか」を考え、メディアを選択することが重要です。数打てば当たるわけではありません。

一つ、情報は正確に。

イベント内容（日時・場所・連絡先など）は原稿を見直してから持ち込むこと。間違いがあることも多いそうです。

一つ、相手の立場に立った情報提供を。

FAXを送るその原稿、白黒印刷されたらどうなる？メールの際は、資料添付するだけでなく、情報をテキスト化して提供することで先方の業務も楽になるといった視点も持ちましょう。

一つ、直接コンタクトをとれるメディア関係者をつくるべし！

メディアと一口に言ってもそれぞれ一人の人間です。普段からいかに友好的な関係性を作っておけるかがとても大事です。

地域まんまるWith地域おこし協力隊

「出会って♡つながって♡コラボしよう！」

1月発行の機関誌まんまるの特集は「地域おこし協力隊」でした。取材を通して隊員の頑張りが市民に見えていないと感じ、交流会を企画しました。

2月10日、篠ノ井交流センター多目的ホールにはOBを含む地域おこし協力隊9人、NPOや企業、多様な立場の人が30人集まりました。

地域づくりには「よそ者・若者・ばか者」という言葉もあります。よそ者である彼

らが長野を選んで奮闘している様子を多くの方に肌で感じてもらう、つながって一緒にできることを考える機会にしてみよう。

前半、長野の方言クイズで心を柔らかくして、それぞれの隊員から長野に来た理由や現在の活動、これからの夢などを語ってもらいました。温かく見守るみなさんが良い雰囲気を作ってくれました。



後半の自由交流の時間には「一緒にイベントを」などつながりもできたようです。

また、「これから受け入れを検討している。今日は勉強になった」という感想もありました。隊員からは「自分の生き方をいいねと言ってもらってよかった」「私のいる地域はともいいたいところ、ぜひ遊びに来てほしい」となどの発信がありました。

この日の出会いが一つでも形になりますように。そして、これから来てくれる協力隊の皆さんが地域であたたかく迎えられるように。

NPOステップアップ講座

「Withコロナ時代の市民活動・コミュニティ運営の実践

リアルとオンラインによるハイブリッドマネジメント」

が寄せられました。



1月24日(日)、今年で3回目のコミュニティマネジメント講座を開催し30人が参加しました。オンラインともんぜんぶら座の会場で並行して実施、まんまるとしても新たな講座開催への挑戦となりました。

市民活動の根幹と言える「リアルに人が集まる」ことが難しくなっている今、まずは各団体の現状、コロナ禍での活動課題を共有。「マスク越しだと表情がわかりにくい」「オンラインになじめない人がいる」「感染警戒レベルごとのコロナ対

策が難しい」と言った声が上がりました。

講師の呉哲煥さんは、活動を続けるためには「改めて活動の原点を見つめなおす」「中長期的な視野を持つ」といったポイントを伝授。

「これからはオンラインコミュニケーションが必要となる。コロナ禍をチャンスと捉えて活動を進化させていきましょう」と話しました。

参加者からは「活動を止めるのではなく、その時々状況に合わせる」ことが重要と感じた。「これから団体運営について前向きな気持ちになった」との感想



グループごとに情報交換



最後はみんなで集合写真

#16

My
ストーリー

翠翔会 代表 谷 政実さん

「中卒で嫌な思いをたくさんした。ボランティアで落書きを消していた時に警察官に声をかけられ、連れていかれた」と語るのは翠翔会の谷政実さん。

中学卒業後

就職しましたがすぐに退職、通信制高校に入学しますが友達ができないと1年で退学。その後父が経営するコンビニで働くようになりま。休みは週1回火曜日だけ、夜勤だったので一緒に遊ぶ友達もなく、ゲームの世界にのめりこみます。

当時インターネット上でつながりを作るSNSが流行し始め、自らコミュニティを作りました。その名も「平日も遊ぼうin長野」。しかし、人数が多くなるとトラブルも増え、

10人のメンバーとそのコミュニティを飛び出しました。メンバーの中には障害のある人や心に傷を負った人もいました。そこで、「社会から疎外された人の居場所」として2015年1月に翠翔会を発足します。

メンバーから「ボ



ランティアしたい」という声が上がって、どうせやるなら「誰もやっていないこと」「誰にもまねできないこと」をやりたいと映画上映をすることにします。障害者施設や幼稚園などで2カ月に1回の上映会を企画、普段映画館に行けない人たちにも映画を通して何かを伝えたいと活動します。谷さんは映画製作会社で仕事をした経験があり、機材なども譲り受けその技術を生かしました。

現在は保険会社に勤務する傍ら、映画上映や子ども食堂での学習支援など翠翔会の活動に奔走。「翠翔会は学校や社会ではできない仲間の居場所」とのこと。仲間の成長を喜び、谷さん自身が困ったときに助けてくれる仲間の存在を大切にしています。

現在36歳。40歳で翠翔会を引退、屋台のおじさんになって養子縁組みをして、子育てをするのが夢です。

団体情報

翠翔会
E-mail:suisyokukai@gmail.com

プロフィール

長野市小鍋在住。妻と猫2匹、モルモット2匹と同居。モルモットの名前は「レタス」と「キャベツ」

旬 NPO紹介

まんまるの!



共同代表の岩間千佳さんと
法人のキャラクターえんまるちゃん。

NPO法人 えんまる
長野市三本柳東3-13
TEL:070-4353-8848 npo@enmaru.jp

NPO法人 えんまる

2014年設立以来、訪問型病児保育を中心に事業を展開。子どもたちの心を瞬時につかめるよう10年以上の経験をもつ保育士の採用や会員との事前面談の徹底など、一人ひとりと関わりを大切にしてきました。

一方見えてきたのは、SOSを出せない、孤立している家庭の存在でした。「食をきっかけに孤立する親子の心を聞き、助けたい。公的な支援にたどり着けない人にも目を向けたい」と、定期的に食材を届ける「子ども宅食えんまる便」を2020年秋からスタートしました。

「食材はすべて寄付で集まったもの。大切に包みプレゼントする気持ちでお渡ししています」と共同代表の岩間千佳さんは話します。支援を受けたい、食材や寄付で事業の支援をしたい、どちらも受付中です。

大岡地区の挑戦。 小規模多機能自治を!!

大岡地区住民自治協議会

少子高齢化、人口減少、空き家…。大岡地区は高齢化率が60%を超え、地域活動の担い手不足に悩んでいます。

昨年10月に同地区は小規模多機能自治を提唱する「エコー」人と組織と地球のための国際研究所「川北秀人さんを招いて「持続可能な地域づくり」を考える講座を開催しました。同地区では介護保険の改正に伴う新たな仕組みづくりを考える協議体が発足し、1年近く議論を進めていました。講座の中で、「中学生以上全住民アンケート」で住民のニーズを把握し、今後の事業や組織再編に活かすことが大切と聞き、来年度協議会が中心となってアンケートを実施する

ことに。

そこで、2月19日、具体的な設問や回収・集計の方法について、さらに学ぼうと再び川北さんを招いてのオンライン勉強会を企画しました。昨年、同様の講座を企画した戸隠地区や鬼無里地区などにも呼びかけ、4地区からオンラインで住民自治協議会関係者が参加、熱のこもった3時間となりました。

自分たちの地域は自分たちの手で合言葉に市内全地区に立ち上がった住民自治協議会。約20年が過ぎ、地域の状況も変化しています。その変化に柔軟に対応し、今地域にとって何が必要かを改めて考える必要があります。これからの地域運営のあり方を大岡の歩みから学ぶことができそうです。



オンラインの画面に集中しています



私たち学生団体 Gomitomo は、フジテレビのバラエティ番組「逃走中」とゴミ拾いを組み合わせた「清走中」というイベントを、3月に長野・上田・松本・諏訪・飯田の県内5地域での開催を企画しました。

「美しい自然をポイ捨てから守りたい」という思いで始まったこの企画。地元・長野市では鍋屋田小学校の授業の時間を使わせていただいて、6年生30名と一緒にどうしたらもつと清走中がおもしろくなるのかについて考えたり、これまでの活動を通して知り合った人たちの協力のもと企画を進めることができました。

しかし、その他の地域では一

ゴミ拾いイベント 「清走中」で全国制覇!!

学生団体Gomitomo

から現地の学生や行政、企業との関係を構築しなければならず、何度もオンラインミーティングを重ねたり、現地を訪れて構想を練ったりと苦労しました。

鍋屋田小学校での開催は、平日の朝の時間ということで参加者が集まるか心配もありましたが、口コミなどで、当日は小学生29人、大人21人が集まり、街中のゴミを拾いつくしました。

これからも清走中を全国各地で開催し、世界からポイ捨てをなくすことを目標に活動していきたいと思えます。

(Gomitomo代表 北村優斗)



大人も子どももみんな楽しくゴミ拾い!



タイトル	日時	会場 / 費用	内容
NPO 初歩講座	4月24日(土) 13:30-15:30 6月23日(水) 18:30-20:30	市民協働サポートセンター 参加費:300円 定員:5人	「何かしてみたいな」と考えている人、ボランティアとは? NPOってなに?という人は、まずこの講座から始めましょう。市民活動やNPOの言葉の意味から市内の市民活動紹介も。
NPOステップアップ講座 インターネットリテラシーのいろは [SNSの発信を考えよう]	5月29日(土) 10:30-12:30	もんぜんぶら座 3階304会議室 参加費:500円(学生無料) 定員:20人 対象:SNSで市民活動などの 広報をしている・したいと 考えている人	FacebookやInstagramなどのSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)は使っていますか? SNSによる情報発信が当たり前になっている今、炎上などさまざまなトラブルに巻き込まれることも増えています。アドバイザーとして千野敬子さん(ソフトバンク株式会社 CSR統括部)を迎え、「なぜ自分がSNSをやるのか」「発信のときに気を付けていること」を考えます。
NPOステップアップ講座 広報のいろは [情報発信、意識しないと伝わらない]	6月26日(土) 10:30-12:30	もんぜんぶら座 3階304会議室 参加費:500円/定員:20人 対象:NPO・地域活動に取り 組んでいる個人や団体等	市民活動団体を運営する皆さん、広報活動はどうしていますか?自団体を知ってほしい、イベントに集客したい、でも、限られた人手、費用の中で…悩ましいですね。さまざまな手段がある中、効果的な情報発信について専門家といっしょに学ぶ講座です。 講師:岡田義彦さん(ソーシャルデザインセンター代表)
NPOカフェまんまる 「このままでいいの!? おれ(わたし)の今まで おれ(わたし)のこれから 少し話してみようかパートⅡ」 ～ミドルの居場所～	4月17日(土) 14:30-17:00	もんぜんぶら座 3階304会議室 参加費:無料/定員:15人 対象:30代~40代	今までの自分を振り返って自分棚卸。いままでのことや、これからのことを同じ世代で共有し、一緒にできることを探します。素直な自分になって、ちょっと話していきませんか? 初めての参加大歓迎です!
NPOカフェまんまる 「定年後は何する? 2021」	5月15日(土) 10:30-13:00	もんぜんぶら座 3階304会議室 参加費:無料/定員:15人 対象:定年前後の男性	退職後の生き方について語り合う男性限定の交流会です。定年を過ぎて家庭に帰ったお父さん、これから定年を迎える人、なが〜い人生後半戦への迷いや楽しみについてオジメン同士と一緒に話しませんか。気軽に参加ください。 企画協力団体:ゆる〜いおっさんの会
NPOカフェまんまる SDGs まんまる 「自然との向き合い方を考える」	7月3日(土) 13:00-15:30	もんぜんぶら座 3階304会議室 参加費:無料 定員:20人/対象:誰でも	“豊かな自然”に恵まれた信州の里山で鳥獣害が拡大しています。一方で、私たちはグローバル化した産業社会のもとで便利な生活を送り、自然との関わりが希薄になっています。これからの自然との向き合い方をSDGsと関連づけて考え、意見交換をします。話題提供と問題提起:陸斉さん(信州野生生物保全センター)
まちむら交流会 in 七二会 七二会「竹取物語」 ～竹を割ったら何が生まれる?～ 2回シリーズ	①6月13日(日) 9:30-12:00 ②9月4日(土)予定	集合場所: 七二会コミュニティセンター 参加費:保険料実費(予定) 定員:親子8組	七二会地区は「竹」の宝庫です。破竹がどのように“変身”していくのか、6月の1回目は野外で「たけのこ採り」「竹の伐採」を体験しながら親子で七二会の自然に触れていただきます。お土産付きです。 企画団体:七二会いとこ発見委員会

新型コロナウイルスの影響で、開催方法などが変更になる可能性があります。ホームページやフェイスブックでも随時情報発信しています。あわせてご確認ください。



はココに!

ナノグラフィカ

善光寺仁王門の西側、西之門町の1件の古民家が企画編集室「ナノグラフィカ」です。入り口のガラス戸には今月の予定が貼られています。哲学的対話会、日本酒の会、戯曲を読む会、空き家見学会、門前山カフェ。なんともバラエティに富んだ企画たち。主催者の増澤珠美さんはここに住んで17年。「住むほどに味わい深い町ですが、まだまだこの界限には知らないことが多い」と地元の皆さんと“もんぜん暮らしのすすめ”を実践しています。
ナノグラフィカ(長野市西之門町930-1 026-232-1532)

機関誌まんまる設置場所募集中!!

発行 / 市民協働サポートセンター まんまる (長野市)

TEL:026-223-0051 FAX:026-223-0052

〒380-0835 長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F

e-mail: npo@nagano-shimin.net

ホームページ: <https://nagano-shimin.net/>



編集後記

新しい門出を迎えた皆さん、ガマンの1年を過ごした大勢の皆さん、芽吹き、開花、新緑の季節、春です。マスクは外せないけど、ちょっとすくだして野山へ行ってみよう。そして遠くを眺めてみよう! きっといいことがある!(ヒゲニ)

